

科目名	授業名	担当教員
デジタルプレゼンテーションⅠ	デジタルプレゼンテーションⅠ	松本 尚久
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
デザイン業務で最重要となるプレゼンテーションに必要な技術の習得		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 PhotoshopによるCGパースのレタッチ技術やスタディ方法とIllustratorを用いたプレゼンボードの作成。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：Photoshop、Illustratorをインテリアデザイナーとして実務レベルで利用できる知識及び学習方法の習得。 （作品を改善するために何をすればよいかについて、分析ができる完成イメージを明確にして、その実現のために現段階ですべきことを的確に把握できる他者の意見を積極的に求め、課題を明らかにしようとしている） 【社会人基礎力】課題発見力、計画力、想像力。完成イメージを明確にし、実現に向けた課題を把握するために、他者の意見を積極的に取り入れて分析できる能力を身に付ける。		
回	テ ー マ	内 容
1	オリエンテーション 1. 科目の狙い、 2. 到達レベル 3. 講義計画等の説明__現段階のレベルチェック	事例などを用いてプレゼンテーションの必要性と重要性の説明__現段階のPhotoshopの技術の確認 【持参物】PC
2	Photoshop_基本操作の確認	パース加工の基本 【持参物】PC
3	Photoshop_技術習得1	切り抜き・合成・変形・不透明度・レイヤーマスク 【持参物】PC
4	Photoshop_技術習得2	四間道模型写真加工・レイヤーマスク 【持参物】PC
5	Photoshop_技術習得3	テクスチャ合成・レイヤーマスク① 【持参物】PC
6	Photoshop_技術習得4	テクスチャ合成・レイヤーマスク② 【持参物】PC
7	Photoshop_技術習得5	実践と応用① 【持参物】PC
8	Photoshop_技術習得6	実践と応用② 【持参物】PC

回	テ ー マ	内 容
9	Photoshop_技術習得7	実践と応用③ 【持参物】PC
10	Photoshop_技術習得8	実践と応用④ 【持参物】PC
11	インテリアデザインコンペ1	入賞作品の調査 【持参物】PC
12	インテリアデザインコンペ2	コンセプト立案 【持参物】PC
13	インテリアデザインコンペ3	仮レイアウト・プラン 【持参物】PC
14	インテリアデザインコンペ4	プラン・パース加工 【持参物】PC
15	インテリアデザインコンペ5	パース加工・レイアウト 【持参物】PC
教科書・教材		
実務で制作したパースや他授業で制作したパース、図面など		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせて提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
課題提出60％、平常点(受講態度)40％ 課題提出方法__データをGoogleドライブの指定フォルダに提出。		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
インテリアデザインⅠ	インテリアデザインⅠ	内藤 太一
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
ある集合住宅のリノベーション課題に取り組む。課題を通して、 考え方から表現方法までインテリアの設計とプレゼンテーションに必要な知識を学ぶ		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 インテリア設計の課題を細かく段階を区切って様々なテーマについて学ぶ。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】主体的に考える習慣を身につける。感じたことを言語化する習慣を身につける。 考えたことを様々な手法（スケッチ、模型、製図、CG等）によって表現できるようになる。 リサーチ、コンセプト立てからプレゼンテーションまで、建築、インテリアプロジェクトの流れを理解する。 【社会人基礎力】主体性、実行力、課題発見力、発信力。		
回	テ ー マ	内 容
1	歴史：コンテキスト	建築やデザインの歴史について学ぶ。 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
2	図面：スケール	スケールについて学び、製図に取り組む 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン、製図道具
3	住居：コンセプト	住居について学び、設計する住居のコンセプトを考える 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
4	設計の進め方：スケッチ	どのようにスケッチを進めるかを学ぶ 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
5	図面：様々な図面表現	図面による表現について学ぶ 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
6	パース	パースの描き方の基本を学ぶ 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
7	ブラッシュアップ	案をブラッシュアップする 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン
8	素材：マテリアル	インテリアの素材について学ぶ 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン

回	テ ー マ	内 容
9	製図	図面を完成させる 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン、製図道具
10	模型	模型表現について学び制作する 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、模型材料、模型道具
11	模型	模型表現について学び制作する 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、模型材料、模型道具
12	プレゼンテーション	設計意図を伝える方法について考える。プレゼンテーションの準備 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン、各自必要なもの
13	プレゼンテーション	設計意図を伝える方法について考える。プレゼンテーションの準備 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン、各自必要なもの
14	プレゼンテーション	設計意図を伝える方法について考える。プレゼンテーションの準備 【持ち物】スケッチブック、筆記用具、パソコン、各自必要なもの
15	発表：プレゼンテーション	考えを伝える。プレゼンテーション。 【持ち物】スケッチブック、筆記用具
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせて提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
受講姿勢、各回課題提出状況、最終成果物、最終プレゼンテーションを点数化し評価する。		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
製図Ⅰ	製図Ⅰ	大澤 由紀子
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
建築・設計を学ぶための入門編。 図面の模写を通して道具の使い方のおさらい、線の描き方、縮尺など製図の基本ルールを身に付ける。 また、図面から立体的な空間を把握する基礎能力を養うことを目的とする。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》 建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 1 インテリア 建築における製図においての平面図、断面図、立面図の描き方を学ぶ。 2 住宅の基本図面を描く順序と意味を学ぶ。後半からはインテリアデザインコンペを行う。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】 1. 住宅における基礎的な図面表現ができるようになる。 2. 建築図面の基本的な見方が理解出来るようになる。 【社会人基礎力】 ■前に踏み出す力＝主体性 ■考え抜く力＝計画力 ■チームで働く力＝傾聴力		
回	テ ー マ	内 容
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明、平面図	図面とは何かを伝える。道具の使い方、図面の種類を理解し、平面図を模写する。【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
2	平面図	平面図の演習 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
3	断面図	断面図の演習 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
4	他授業フォロー	団地リノベーションの図面を進める。 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
5	立面図	立面図の演習 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
6	矩計図 1/3	矩計図の意味 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
7	矩計図 2/3	矩計図の演習 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ
8	矩計図 3/3	矩計図の演習 【持参物】製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ、字消し板、製図用ブラシ

回	テ ー マ	内 容
9	インテリアデザインコンペ	テーマ・コンセプトについて考察する。 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
10	インテリアデザインコンペ	コンセプト・プランニング 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
11	インテリアデザインコンペ	プランニング 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
12	インテリアデザインコンペ	プランニング、図面、パース 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
13	インテリアデザインコンペ	プレゼンボードレイアウト、図面、パース 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
14	インテリアデザインコンペ	プレゼンボードレイアウト、コンセプト文 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
15	インテリアデザインコンペ	レイアウトデータ入稿 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック
教科書・教材		
「建築製図 基本の基本」 櫻井良明 著/学芸出版社		
予習・復習		
・授業内で提示する課題について：各締切日にあわせ提出できるようにする		
評価項目（評価の方法）		
・授業態度および提出する課題への取り組み方 ・課題評価(提出図面の完成度、プレゼンボードレイアウトの完成度)		
その他		
【受講ルール等】 状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する。 【その他】 3～4人のグループワークも適宜取り入れ実施。		

科目名	授業名	担当教員
インテリアCADⅠ[2級建築士指定科目]	インテリアCADⅠ[2級建築士指定科目]	田淵 智子
開講年度	開講学期	単位数
2026年度	前期	2単位
科目のねらい		
建築・インテリアに携わる者として実務において必要となるVectorworksのソフトによってCADの操作や図面のレイヤー管理を学ぶ。 まず、線の引き方、線の消し方、レイヤーの意味などを理解し、図面を描く基本操作方法を習得することを目的とする。		
授 業 の 概 要		
Vectorworks、Photoshop、Illustratorなど今後の講義において必須となるソフトウェアについての基礎を学ぶ。 《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】Vectorworks…図面作成能力全般の習得。平面図・立面図・断面図を描けるようになる。 図面を立体的にとらえることができるようになる。 【社会人基礎力】主体性、実行力、計画力。課題を通して主体的に行動し、粘り強く取り組める力を身に付ける。		
回	テ ー マ	内 容
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画の説明、Vectorworks設定、スケールを知ろう！	Vectorworksのインストールおよびコンベックスを使って生活空間のスケールを学ぶ。 【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン、コンベックス
2	Vectorworks基礎①	Vectorworks操作技能認定試験 学習用教材：1_2D作図基礎編 建築製図基本の基本：平面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
3	Vectorworks基礎②	建築製図基本の基本：平面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
4	Vectorworks基礎③	建築製図基本の基本：平面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
5	Vectorworks基礎④	建築製図基本の基本：断面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
6	Vectorworks基礎⑤	建築製図基本の基本：立面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
7	Vectorworks基礎⑥	建築製図基本の基本：立面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
8	四間道の小さなカフェ①	平面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン

回	テ ー マ	内 容
9	四間道の小さなカフェ②	平面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
10	四間道の小さなカフェ③	立面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
11	四間道の小さなカフェ④	立面図のCAD化 【持参物】教科書：建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
12	インテリアデザインコンペ①	レイアウト・パース加工 【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
13	インテリアデザインコンペ②	レイアウト・パース加工 【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
14	インテリアデザインコンペ③	レイアウト・パース加工 【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
15	インテリアデザインコンペ④	ハレパネ作業 【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン
教科書・教材		
建築製図基本の基本		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせて提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
平常点(授業受講姿勢など) 課題評価(図面の完成度、レイアウトの完成度) 但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
インテリアCAD II		インテリアCAD II	天野 良則
開講年度		開講学期	単位数
2026年度		前期	2単位
科目のねらい			
C A Dソフト（Vectorworks）によって出来たデータをC Gソフト（SketchUp）による立体制作ソフトへとデータを移行して、正確な立体表現をする制作方法を学び、3次元の立体空間を自由に表現できることを習得する。またTwinmotionによるリアルタイムレンダリングを学びリアリティのある絵作りを習得する。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 Sketchupを用いた住宅規模の3Dデータ作成手法からTwinmotionを用いたリアルな絵作りまでを学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】 Sketchup…自在に住宅規模の入力が可能な技術の習得 Twinmotion…短時間でのリアルな絵作りが可能な技術の習得 【社会人基礎力】 考え抜く力（想像力）、前に踏み出す力（主体性）			
回	テ ー マ		内 容
1	Sketchup、Twinmotion基礎：練習課題「家具のモデリング2点」		Sketchup及びTwinmotionの基本操作を学び作業の工程を一式理解する
2	課題1 空間モデリング：「バルセロナパビリオン」		矩形の形状のみで構成された名作建築を題材として、基本的なモデリングの手順を修得する
3	形状モデリングスタディ：小課題1「矩形」		様々な形の立体・空間を9個作成、短時間で形を作り上げる
4	形状モデリングスタディ：小課題1「矩形」 ブラッシュアップ		小課題1の提出物9点の中から一つの作品を選択しブラッシュアップ
5	課題2 空間モデリング：「都市公園」		矩形の形状のみで構成された都市公園を題材として、基本的なモデリングの手順を修得する。第2講 地盤面のデザイン 第3講 壁・屋根 第4講 付随する店舗 第5-6講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ
6	課題2 空間モデリング：「都市公園」		矩形の形状のみで構成された都市公園を題材として、基本的なモデリングの手順を修得する。第2講 地盤面のデザイン 第3講 壁・屋根 第4講 付随する店舗 第5-6講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ
7	形状モデリングスタディ：小課題2「多角形」		様々な多角形の立体・空間を9個作成、短時間で形を作り上げる
8	形状モデリングスタディ：小課題2「多角形」 ブラッシュアップ		小課題2の提出物9点の中から一つの作品を選択しブラッシュアップ

回	テ ー マ	内 容
9	課題 3 空間モデリング2：「自然に囲まれた少住宅」	平屋の住宅にて住宅モデリングの基礎を修得する。第8講 ガレージ 第9講 壁・屋根 第10-11講 内装 第12-13講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ
10	課題 3 空間モデリング2：「自然に囲まれた少住宅」	平屋の住宅にて住宅モデリングの基礎を修得する。第8講 ガレージ 第9講 壁・屋根 第10-11講 内装 第12-13講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ
11	形状モデリングスタディ：小課題 3 「曲面」	様々な曲面の立体・空間を 9 個作成、短時間で形を作り上げる
12	形状モデリングスタディ：小課題 3 「曲面」 ブラッシュアップ	小課題 3 の提出物 9 点の中から一つの作品を選択しブラッシュアップ
13	課題 4 空間モデリング 3：「フィッシャー邸のモデリング」	より実践的なモデリングの習得をフィッシャー邸を題材に学ぶ
14	課題 4 空間モデリング 3：「フィッシャー邸のモデリング」	より実践的なモデリングの習得をフィッシャー邸を題材に学ぶ
15	最終提出、講評	今季製作した課題についてまとめて講評を行う
教科書・教材		
進行状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する。		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせて提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
1. 表現の正確性 2. 作成にかかる時間（短いことが望ましい） 3. 各種ソフトウェアの利用状況（必要に応じて適宜利用できているかどうか、使用方法に間違いがないか） 4. レイアウト（美的センス、わかりやすくまとめる能力） 平常点（授業受講姿勢など）/課題評価を活用し課題評価を主体とし総合的に判断。		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
空間スケッチ		空間スケッチ	富田 慎治
開講年度		開講学期	単位数
2026年度		前期	2単位
科目のねらい			
インテリアの基礎知識を学ぶ。パース（透視図法）の考え方と描く際に必要となる基本的な知識とテクニックを習得する。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 インテリアの基礎知識を学びながら、透視図法の描き方をテキストにそって繰り返しスケッチ演習を重ね習得する。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】透視図法の用語理解。1点透視図法での室内パース図、2点透視図法での室内パース図を作図できる。 【社会人基礎力】：主体性、働きかけ力、実行力。他者とコミュニケーションをとりながら問題解決に向かう力を養う。			
回	テ ー マ	内 容	
1	講義計画等の説明 スケッチパース『基礎編』	授業内容の説明。パース（透視図法）について。 01インテリア小物を描く	
2	スケッチパース『基礎編』	01インテリア小物を描く	
3	スケッチパース『基礎編』	02家具を描く	
4	スケッチパース『基礎編』 【テキスト演習チェック】	03ベッドを描く	
5	スケッチパース『基礎編』	04収納家具を描く	
6	スケッチパース『実践編』	05小部屋を描く	
7	スケッチパース『実践編』	06室内を描く	
8	スケッチパース『実践編』 【テキスト演習チェック】	06室内を描く	

回	テ ー マ	内 容
9	スケッチパース『実践編』	07店舗を描く
10	スケッチパース『実践編』	07店舗を描く
11	リノベーション課題を透視図法で描く	平面図から構図を決める。
12	リノベーション課題を透視図法で描く	平面図からパースを描く。
13	リノベーション課題を透視図法で描く	パースに彩色。
14	リノベーション課題を透視図法で描く	仕上げ。
15	リノベーション課題を透視図法で描く	プレゼンテーション。
教科書・教材		
『スケッチパース（インテリア編）』 【持参物】PC、鉛筆・色鉛筆、消しゴム、クロッキー帳、定規類一式		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせ提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
1. 授業への取り組み姿勢 2. 課題作品の完成度 【評価項目（評価の方法）】 1. テキスト（なぞって描く）40% 2. 課題評価（技術力・表現力）40% 3. 授業態度20% 4. 課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
その他		
【受講ルール等】 指定日時に指定場所へ指定された方法で提出。		

科目名		授業名	担当教員
住まいのデザイン[2級建築士指定科目]		住まいのデザイン[2級建築士指定科目]	松月 浩子
開講年度		開講学期	単位数
2026年度		前期	2単位
科目のねらい			
機能が形態をつくるという事にとどまると建物は建築にならない。間取りをつくっただけでは美しい室内にはならない。 建築の美しさや景観との調和は建築の機能ではなく外観や色彩や素材感である。 基礎造形を学び、建築デザインの基本を習得する事をねらいとしている。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 3課題程度からデザインコンセプト模型を作成する事により基礎造形を学ぶ。 各個人が設定した内容から導いた作品をプレゼンテーションする。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】課題を読み解き、空間や造形で模型を表現することができる。 【社会人基礎力】主体性、課題発見力、想像力、柔軟性。 課題を通して主体的に行動し、各自に発信しながらテーマの課題について問題点を見出す能力を身に付ける。			
回	テ ー マ		内 容
1	基礎造形概論、建築概論説明、課題説明、課題 1 製作（相手を思いやる）		造形手法を知る。先人の建築を見て知識、見識を深める。スタディ模型を製作する。
2	課題 1 製作		スタディ模型を製作する。（講評前半）
3	課題 1 製作		スタディ模型を製作する。（講評後半）ブラッシュアップした模型を製作する。
4	作品発表、講評会		各自作品発表を行い、講評会を行う。
5	課題 2 製作（周辺環境を読み解く）		スタディ模型を製作する。（講評前半）
6	課題 2 製作		スタディ模型を製作する。（講評後半）
7	課題 2 製作		ブラッシュアップした模型を製作する。
8	作品発表,講評会		各自作品発表を行い、講評会を行う。

回	テ ー マ	内 容
9	住宅史概論,住宅課題製作（スタディ模型）	住宅史について理解する。先人の建築を見て知識、見識を深める。 コンセプトを検討する。
10	住宅課題製作（スタディ模型）	スタディ模型チェック（講評前半）
11	住宅課題製作（スタディ模型）	スタディ模型チェック（講評後半）
12	住宅課題製作（スタディ模型2）	ブラッシュアップ模型チェック（前半）
13	住宅課題製作（スタディ模型2）	ブラッシュアップ模型チェック（後半）
14	住宅課題製作（スタディ模型2）	ブラッシュアップ模型チェック（後半）
15	作品発表、講評会	各自作品発表を行い、講評会を行う。
教科書・教材		
なし		
予習・復習		
授業内で提示する課題について各締切日にあわせて提出できるようにする。		
評価項目（評価の方法）		
平常点(授業受講姿勢など) 課題評価(図面の完成度、レイアウトの完成度) 但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。		
その他		
持ち物：A3用紙（用紙にある程度固さがある事）、はさみ、カッター、カッターマット、定規、のりなど模型制作に必要な材料、パソコン		

科目名		授業名	担当教員
業界研究Ⅱ		業界研究Ⅱ	田淵 智子、岸本 雅樹、柴田 美佳
開講年度		開講学期	単位数
2026年度		前期	1単位
科目のねらい			
自己分析を行い、自分のやりたい事や強み弱みを知る。各求人サイトへ登録し、情報を収集する。 希望業界の企業を調べ、インターンシップに参加する。履歴書の書き方や面接のポイントを知る。 本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。 個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。			
授 業 の 概 要			
≪実務経験のある教員による授業科目≫デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。 自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】：卒業後の進路について業界と職種を自分自身で調べ、就職活動のスタートを切ること出来る。 自己を知り、企業にアピールが出来る。 【社会人基礎力】：社会人として講聴マナーを身につける。文章力、自己PR力を養う。			
回	テ ー マ		内 容
1	【合同】キャリアパート(冒頭約20分) ・キャリアセンターツアー ・就職活動スタートアップ講座 ・終了後各クラス個別進路希望調査		・就職活動の進め方に関する説明 ・キャリアセンターへの訪問 【持参物】 筆記用具
2	PROG		PROGテストを行う 【持参物】 筆記用具
3	【合同】適性検査 業界職種の研究		適性検査を行う（約45分） ネットやキャリアセンターの資料を活用し、各コース就職・活躍できる職種を調べる 【持参物】
4	文章トレーニング		自分の事を文章に起こして、相手に魅力的に伝える 【持参物】 筆記用具・PC
5	文章トレーニング 敬語の使い方		自分の事を文章に起こして、相手に魅力的に伝える 敬語の使い方を覚える 【持参物】 筆記用具・PC
6	自己分析・他己分析 文章トレーニング		長所、短所を自己分析、他己分析を行う 【持参物】 筆記用具・PC
7	【合同】インターンシップに関する情報入手と準備の進め方		インターンシップの情報入手方法 申し込み方法 学校とりまとめインターンについて 【持参物】
8	就活身だしなみ講座		就職活動を行う上でのマナーや服装の身だしなみについての講演 【持参物】 筆記用具

回	テ ー マ	内 容
9	履歴書の書き方 1	企業に提出する履歴書の基礎と自分の長所を考える 【持参物】 筆記用具・PC
10	履歴書の書き方 2	授業内で行った業界研究から企業を選択し、提出する履歴書の基礎と自己アピールを書く練習をする 【持参物】 筆記用具・PC
11	【合同】スタログ利用説明（キャリアセンター） エントリー企業検索	求人票閲覧システムの利用方法を聞く インターンシップや採用エントリー開始時期など調べ、エントリーする
12	面接練習・自己アピール1	クラス内で面接練習実施
13	面接練習・自己アピール2	クラス内で面接練習実施
14	面接練習・自己アピール3	クラス内で面接練習実施
15	グループディスカッション	クラス内でグループディスカッションの練習実施
教科書・教材		
適宜資料を配布		
予習・復習		
授業内で学んだ中で、自身で気になった内容について自主的に深掘りをして理解を深める。		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】： 1. 学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2. 課題提出は担任が回収、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】： 1. 授業参加態度が良好であること		
その他		

科目名		授業名	担当教員
デジタルプレゼンテーションⅡ		デジタルプレゼンテーションⅡ	松本 尚久
開講年度		開講学期	単位数
2025年度		後期	2単位
科目のねらい			
デザイン業務で最重要となるプレゼンテーションに必要な技術の習得。 コンセプト立案からプレゼンボードの作成の工程を習得する。 就職活動に向けたポートフォリオ作成。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 PhotoshopによるCGパースのレタッチ技術やスタディ方法とIllustratorを用いたプレゼンボードの作成及びポートフォリオ作成。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】：Photoshop、Illustratorをインテリアデザイナーとして実務レベルで利用できる知識及び学習方法の習得。 【社会人基礎力】：課題発見力、計画力、創造力（作品を改善するために何をすればよいかについて、分析ができる完成イメージを明確にして、その実現のために現段階ですべきことを的確に把握できる他者の意見を積極的に求め、課題を明らかにしようとしている）			
回	テ ー マ	内 容	
1	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】 ・ 前期コンペのフィードバック	・ コンペ(主張するみせ)の過去作品の調査及びコンセプト立案 ・ 前期コンペのフィードバック 【持参物】PC	
2	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ コンセプト立案 【持参物】PC	
3	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ プランニング ・ 仮レイアウト 【持参物】PC	
4	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ プランニング 【持参物】PC	
5	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ プランニング ・ レイアウト 【持参物】PC	
6	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ レイアウト ・ 事前チェック用に提出 【持参物】PC	
7	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ レイアウト（授業として制作は最後） ・ 事前チェックフィードバック 【持参物】PC	
8	・ JTOCSコンペ【第23回主張するみせ学生コンペ】	・ フィードバック ・ 学生間での評価会 【持参物】PC	

回	テ ー マ	内 容
9	・ポートフォリオ	・ポートフォリオの調査 【持参物】PC
10	・ポートフォリオ	・ポートフォリオ雛形作成 【持参物】PC
11	・ポートフォリオ	・ポートフォリオ雛形作成 【持参物】PC
12	・Photoshop復習	・前期授業の復習(調整レイヤー・レイヤーマスク・描画モードのさらなる理解) 【持参物】PC
13	・他授業のフォロー	・他授業のフォロー 【持参物】PC
14	・他授業のフォロー	・他授業のフォロー 【持参物】PC
15	・他授業のフォロー	・他授業のフォロー 【持参物】PC
教科書・教材		
実務で制作したCGパースや他授業で製作したCGパース、図面など		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
評価優先順位 1：コンペ入賞の有無 2：成果物に対しての講師目線での評価≒学生間での評価 3：授業態度 4：出席日数		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
インテリアデザインⅡ	インテリアデザインⅡ	小塚 三恵
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	2単位
科目のねらい		
実際の立地を用いて土地の特性をリサーチし、来店動機につながるデザインアプローチの習得を目指す。 店舗企画・デザイン・設計のプロセスを学ぶ。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。15週の決められた期間の中で、デザインへの想い（コンセプトや、表現方法）を伝えることのできる作品を完成させる事を目指す。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】：課題抽出、コンセプト立案、空間デザイン構成、サインデザイン等ができる。 【社会人基礎力】：主体性、課題発見力、想像力、発信力。 課題を抽出し、店舗デザインで解決する手法・創造力を養う。また、自分の強み・得意を知り主体的に行動・発想できる人として成長し、想いを伝える力・発信力を身につけることでデザインに価値を生み出すことを目標とする。		
回	テ ー マ	内 容
1	1限目：講義計画の目的や課題説明、および計画地情報とリサーチ 2限目：計画地確認と、周辺立地環境視察	課題把握と、計画地の視察を合わせてデザイン構想への準備とする。
2	立地特性や、ターゲットから店舗コンセプトを設定	計画地視察を踏まえて、ターゲットをイメージし集客できる店舗コンセプト（業種）の立案を行う。
3	コンセプト具体化、デザインイメージプランニング（手書き）	立案した店舗コンセプトをもとにデザインイメージを膨らまして方向性を定める。
4	空間デザインおよび平面レイアウトプラン（手書き→CAD）	デザインイメージを明確化し、空間の過ごし方に合った平面レイアウトを検討する。 レイアウトの可能性を広げて複数案検討していく。
5	空間デザインおよび平面レイアウトプラン（手書き→CAD） 中間プレゼンテーション準備	デザインイメージを明確化し、空間の過ごし方に合った平面レイアウトを検討する。 中間プレゼンに向けてアイディアを整理し、方針を固めていく。
6	空間デザインおよび平面レイアウトプラン（手書き→CAD） ※店舗ネーミング・サインのイメージ考案 中間プレゼンテーション組み立て	店舗コンセプト（特徴）、ターゲット、デザインテーマ、平面レイアウトおよび店舗ネーミング・サインなど、目指すべき方向性が伝えられるプレゼンテーションへと準備をする。 ※手書き・CAD説明手法は自由。
7	1限目：中間プレゼンテーション組み立て 2限目：中間プレゼンテーション（1人／5分）	店舗コンセプト（特徴）、ターゲット、デザインテーマ、平面レイアウトおよび店舗ネーミング・サインなど、目指すべき方向性が伝えられるプレゼンテーションへと準備をする。 ※手書き・CAD説明手法は自由。
8	課題の整理とブラッシュアップ	中間プレゼンテーションでの気づきを活かして、再度整理とプランのブラッシュアップを行う。

回	テ ー マ	内 容
9	平面レイアウト作図（CAD）、3Dパース作成	平面レイアウトを具体化し、3Dイメージへと繋げていく。 素材感や、家具もテーマに沿ったイメージが選定できることを目指す。
10	平面レイアウト作図（CAD）、3Dパース作成	平面レイアウトを具体化し、3Dイメージへと繋げていく。 素材感や、家具もテーマに沿ったイメージが選定できることを目指す。
11	平面レイアウト作図（CAD）、3Dパース作成	平面レイアウトを具体化し、3Dイメージへと繋げていく。 デザイン意図を伝えられるパースアングルなどの表現をできるようにする。
12	平面レイアウト作図（CAD）、3Dパース作成 ※付加価値・集客アイディア等も検討。（店舗サインや商品ツール、SNS発信など）	店舗空間を活かしてより集客できるような付加アイディアを検討していく。 どう使われると空間が活きてくるか、集客に繋がるブランディングもデザインの一環として捉える。
13	平面レイアウト作図（CAD）、3Dパース作成（完成形へ） プレゼンテーション資料のトンマナ整理	プレゼンテーションに向けて、伝え方の順序やレイアウトを整理する。 色調やフォントを揃えることで一目でイメージしやすく分かりやすい資料を目指す。
14	パースなどデザイン最終調整 プレゼンテーション資料のトンマナ整理	プレゼンテーションに向けて、伝え方の順序やレイアウトを整理する。 色調やフォントを揃えることで一目でイメージしやすく分かりやすい資料を目指す。
15	最終プレゼンテーション（1人／10分） 講評	クライアントに説明する気持ちで、店舗デザインした作品に対する想いを自信を持ってプレゼンテーションする。 実際に店作りをするプロセスを踏んだ作品づくりをすることで、企画・デザインすることの楽しさを学んで欲しい。
教科書・教材		
プリント配布、一部基本図データ資料はgoogleドライブ内に格納		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
興味・探究心を持ち、前向きに課題に取り組む姿勢と、デザインへの熱意・想いを伝えられる事を重視して評価する。		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
製図Ⅱ [2級建築士指定科目]	製図Ⅱ [2級建築士指定科目]	田淵 智子、村上 真生
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	4単位
科目のねらい		
住空間のデザインに取り組み、仮想クライアントの要望や時代背景・環境を踏まえて提案を行う。実在する地域を対象に課題やニーズを抽出し、ソフト・ハード両面から空間設計を中心としたデザインを提案する。プレゼンテーションは仮想クライアントに向けて行い、現実性を意識した提案を通じてデザイナーの役割と社会的意義を学ぶ。		
授 業 の 概 要		
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 家具設計では、現代社会を考察し、デザインによる社会へのアプローチについて学習する。住宅設計では、場所と用途の調査研究から考察を行い、コンセプトを導き出す。全体を通して実社会における住空間デザインの意義、デザイナーの職能を学ぶことを目的とする。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】 1. 《場所》の持つ魅力や課題を掘り起こすことができるようになる。2. 実社会を視野に入れた提案を行うことで、ハード・ソフト両面から広義としてのデザイン力を習得する。3. 専門家でない一般の方を意識した資料作りを通して、伝える力を習得する。【社会人基礎力】 1. 前に踏み出す力（主体性、実行力） 2. 考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力） 3. チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、規律性）		
回	テ ー マ	内 容
1	【村上01】 第一課題：デザイナーズチェアのリサーチ 導入ガイダンス、家具の歴史や住空間における家具の種類や役割やその特徴について	課題説明 【持参物】 筆記用具
2	【田淵01】 課題の概要説明、エスキスの手順について、現地視察	講義計画書を元に全体スケジュールの把握及び提出物の確認。現地視察を行い、実態を把握する。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
3	【村上02】 第一課題：デザイナーズチェアのリサーチ	リサーチ、まとめ作業 【持参物】 PC、その他
4	【田淵02】 宿泊施設の見学	ホテルインディゴ犬山有楽苑様にご協力頂き、実在する宿泊施設の見学をする。 【持参物】 筆記用具
5	【村上03】 第一課題：デザイナーズチェアのリサーチ	課題の発表、知識の共有 【持参物】 PC
6	【田淵03】 コンセプト立案及び事例研究	課題の発表、知識の共有 【持参物】 PC
7	【村上04】 第二課題デザイナーズチェアのリ・デザイン	課題説明、脚物家具（椅子、ソファ、テーブル等）について基本的な構造と特徴について構造や寸法の解説 【持参物】 筆記用具
8	【田淵04】 エスキスチェック	導き出したコンセプトからアイディアスケッチを行い、チェックを受ける。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの

回	テ ー マ	内 容
9	【村上05】 第二課題デザイナーズチェアのリ・デザイン	課題作業 【持参物】PC、筆記用具、クロッキー、トレーシングペーパー
10	【田淵05】 エスキース及びプレゼン資料のチェック	ラフスケッチを具現化し、プレゼンテーションのための資料を制作する。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
11	【村上06】 第二課題デザイナーズチェアのリ・デザイン	課題作業 【持参物】PC、筆記用具、クロッキー帳、トレーシングペーパー
12	【田淵06】 中間プレゼンテーション	プレゼンテーションを行う。意見交換を行い、ブラッシュアップする。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
13	【村上07】 第二課題デザイナーズチェアのリ・デザイン	課題発表 【持参物】PC、筆記用具
14	【田淵07】 図面及び資料の作成	資料、各種図面、パース他の作成。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
15	【村上08】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	箱物家具（収納、キッチン、食器棚、靴箱等）について基本的な構造と特徴について構造や寸法の解説 【持参物】 筆記用具
16	【田淵08】 図面及び資料の作成	資料、各種図面、パース他の作成。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
17	【田淵09】 図面及び資料の作成	資料、各種図面、パース他の作成。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
18	【村上09】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	課題作業 【持参物】PC、筆記用具、クロッキー帳、トレーシングペーパー
19	【田淵10】 図面及び資料の作成	資料、各種図面、パース他の作成。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
20	【村上10】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	課題作業 【持参物】PC、筆記用具、クロッキー帳、トレーシングペーパー、色鉛筆、製図板、製図道具
21	【田淵11】 図面及び資料の作成	資料、各種図面、パース他の作成。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
22	【村上11】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	課題作業 【持参物】PC、筆記用具、クロッキー帳、トレーシングペーパー、色鉛筆、製図板、製図道具

回	テ ー マ	内 容
23	【田淵12】 最終プレゼンテーション資料作成	パース他、プレゼン資料をまとめる。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
24	【村上12】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	課題作業 【持参物】 PC、筆記用具、クロッキー帳、トレーシングペーパー、色鉛筆、製図板、製図道具
25	【田淵13】 最終プレゼンテーション資料作成	パース他、プレゼン資料をまとめる。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、クロッキー帳、その他必要だと思うもの
26	【村上13】 第三課題：造り付け家具（主に収納・一部デスクあり）	課題発表 【持参物】 PC、筆記用具
27	【田淵14】 最終プレゼンテーション	プレゼンテーションを通して意見交換を行う。成果物を総評する。 【持参物】 ノートPC、筆記用具、プレゼン資料
28	【村上14】 ショールーム見学	学外授業家具のSRの見学、先方の都合で時期の変更有 【持参物】 筆記用具
29	【田淵15】 最終プレゼンテーション資料のブラッシュアップ	展示に向けてプレゼン資料のブラッシュアップを行う。 【持参物】 ノートPC、筆記用具
30	【村上15】 ショールーム見学	レポートの発表、知識の共有 【持参物】 筆記用具
教科書・教材		
データ配布		
予習・復習		
1. 必ず事前にポートフォリオの作成（春休みの宿題） 2. 戻したポートフォリオは、必ず期日までに訂正して提出すること、 3. 卒研のテーマ等をリサーチしておく、スムーズに後期につなげる。 4. 細かくは各講義の際に、指示をします。		
評価項目（評価の方法）		
平常点（授業受講姿勢など） 課題評価 出席率 必要出席率が80％を満たさない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
インテリアCADⅢ		インテリアCADⅢ	天野 良則
開講年度		開講学期	単位数
2025年度		後期	2単位
科目のねらい			
各種3DCADの習熟度向上により、より多彩な形状を生み出せるよう、造形能力を向上させる。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当各種3DCADを用いた詳細なインテリアCGのモデリング、曲面など多様な形状の作成方法を学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】 3DCAD全般…複雑な形状の作成方法を学ぶ 【社会人基礎力】 1. 考え抜く力（想像力） 2. 前に踏み出す力（主体性）			
回	テ ー マ		内 容
1	LUMION基礎		LUMIONについて基礎的な操作を学び、Twinmotionとの差を学ぶ。
2	課題1 「フィッシャー邸のレンダリング」		LUMIONで夏の課題をブラッシュアップする。
3	曲面モデリング基礎		Moi3Dのインストール 基本機能の習得。家具を2点制作
4	課題2 「家具のモデリング」		習得したMoi3dで著名なデザイナーの椅子をモデリングする。1/2
5	課題2 「家具のモデリング」		習得したMoi3dで著名なデザイナーの椅子をモデリングする。2/2
6	小課題1 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：flow」		作成する空間を選定。miroを活用しリファレンスシートを作成。
7	小課題1 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：flow」		具体的に形を一件モデリングしていく 曲面を使った空間デザインへの 苦手意識をなくす。
8	小課題2 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：wave」		作成する空間を選定。miroを活用しリファレンスシートを作成。

回	テ ー マ	内 容
9	小課題 2 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：wave」	具体的に形を一件モデリングしていく 曲面を使った空間デザインへの 苦手意識をなくす。
10	小課題 3 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：bubble」	作成する空間を選定。miroを活用しリファレンスシートを作成。
11	小課題 3 「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ：bubble」	具体的に形を一件モデリングしていく 曲面を使った空間デザインへの 苦手意識をなくす。
12	課題 3 パルセロナパビリオンのブラッシュアップ	インテリアCAD II で制作したパルセロナパビリオンをこれまでの技術を総動員してブラッシュアップし、ポートフォリオに加える。
13	課題 4 「my favorite architects pavillion」	各種生成AIを活用し、自分の好きな建築家の功績を称える架空のパビリオンを設計する。 ChatGPT等を活用し建築家の作風など特徴を分析し方向性を決める。
14	課題 4 「my favorite architects pavillion」	デザインの方向性が決まり次第、特徴をキーワードとして抽出し画像生成AIを活用し短期間でスタディを繰り返し形態の方向性を決めmiroにまとめて発表する。 その後これまで学んだ技術を総動員し自力でモデリングを行う。
15	課題 4 「my favorite architects pavillion」講評 、各課題のブラッシュアップ。	最終講評の後、この課題及びこれまでに提出した課題のブラッシュアップに取り組み細部の完成度を上げる。
教科書・教材		
進行状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する。		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
1. 表現の正確性 2. 作成にかかる時間（短いことが望ましい） 3. 各種ソフトウェアの利用状況（必要に応じて適宜利用できているかどうか、使用方法に間違いがないか） 4. レイアウト（美的センス、わかりやすくまとめる能力） 平常点（授業受講姿勢など）/課題評価/出席率（但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない） を活用し課題評価を主体とし総合的に判断。		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
パーススケッチ		パーススケッチ	蛭川 昭彦
開講年度		開講学期	単位数
2025年度		後期	2単位
科目のねらい			
建築・インテリア設計の基盤となる平面図、断面図、立面図、配置図などの描き方を理解した上で、着色技法を身につけ、デザインする意味と表現方法を習得する。			
授 業 の 概 要			
《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 基礎的なアナログ技術をしっかりと身につける必要があります。フィッシャー邸の着色技法を学習します。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】着色技法の基礎を理解し、習得する。 【社会人基礎力】 1.前に踏み出す力(主体性) 2. 考え抜く力（課題発見力・創造力） 3.チームで働く力(発信力・傾聴力・柔軟性)			
回	テ ー マ	内 容	
1	1. 科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明 2. プレゼン資料の事例説明	授業内容の説明。施工事例を解説し、見やすく分かりやすい表現技法を学ぶ 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)	
2	色鉛筆による質感表現、フィッシャー邸平面図の手描きトレース	色鉛筆による自然素材の質感表を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
3	フィッシャー邸平面図の着色、フィッシャー邸立面断面のトレース	色鉛筆、コピックによる平面図の着色を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
4	フィッシャー邸立面断面の着色、フィッシャー邸外観パースの手描きトレース	色鉛筆、コピックによる立面断面図の着色を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
5	フィッシャー邸外観パースの着色	色鉛筆、コピックによるパースの着色及び点景について練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
6	マンション、戸建の平面プランの着色	色鉛筆による事例の着色を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
7	一点透視図、内観スケッチ 1	一点透視による内観パース作成を学びます。ガイド用紙を使って内観スケッチ作成を学びます。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	
8	内観スケッチ2	ガイド用紙を使って内観スケッチ作成を学びます。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	

回	テ ー マ	内 容
9	内観パースの着彩 1	色鉛筆、コピックによる内観パース着彩を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆
10	内観パースの着彩 2、過去の自分作品による手書きトレース	色鉛筆、コピックによる内観パース着彩を練習します。 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆
11	過去の作品による着彩	過去の作品によるパースのアナログ技術の表現技法の魅力を理解する 【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆
12	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳
13	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳
14	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー 【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳
15	講評会 【持参物】筆記用具	制作物の発表
教科書・教材		
プリント配布		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
平常点（授業受講姿勢など）/課題評価/出席率但し、必要出席率が 8 0 %を満たさない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
その他		
なし		

科目名		授業名	担当教員
プレゼンテーションスキル		プレゼンテーションスキル	鳥居 信貴
開講年度		開講学期	単位数
2025年度		後期	2単位
科目のねらい			
建築提案の際に使用される建築模型の製作に伴う基礎授業を行う。 活用方法を含めた模型の可能性について理解し、適切に製作、運用できるようにする。			
授 業 の 概 要			
《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。 模型を活用したプレゼンテーションの効果への理解を深め、実際に模型製作を行い、講評を受ける。			
授業終了時の到達目標			
【専門知識スキル】表現スキルの向上を図り、デジタルとアナログの使い分けにおいて、強度を持った発信力を身につける。 【社会人基礎力】傾聴性、規律性、主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、働きかけ力、状況把握力。			
回	テ ー マ		内 容
1	【授業の説明及びレクチャー】教員及び学生の自己紹介、授業内容説明、建築模型の使い方の説明、課題模型資料の配布と仕上げの検討		本授業の狙いの説明。模型の活用方法の説明。課題で作成する模型の仕上げを検討する。 【持参物】筆記用具、パソコン
2	〈パーツ図を書く〉内容説明及び仕上げ検討及び作図		課題についての説明を受け、どのように作図するか検討を行い、実際に作図する。 【持参物】筆記用具、パソコン
3	〈パーツ図を書く〉作図		前回から引き続き作図を行う、できたものを印刷し次回の準備を行う。 【持参物】筆記用具、パソコン
4	〈パーツを切る〉内容説明及び製作		課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン
5	〈パーツを切る〉製作		前回から引き続き作図を行う。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン
6	〈パーツを彩る+貼る〉内容説明及び製作		課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料
7	〈パーツを彩る+貼る〉製作		前回から引き続き作図を行う。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料
8	(階段・家具・人・外構)内容説明及び製作		課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料

回	テ ー マ	内 容
9	(階段・家具・人・外構)製作	前回から引き続き作図を行う。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
10	模型写真レクチャー	模型写真の撮り方についてのレクチャーを聞き、課題模型をスマホで撮影する。時間があれば発表、講評を行う。 【持参物】筆記用具、スマホ、製作模型
11	他授業の模型製作	設計課題で図面と共に模型を発表する授業の模型製作時間とする。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
12	他授業の模型製作	設計課題で図面と共に模型を発表する授業の模型製作時間とする。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
13	他授業の模型製作	設計課題で図面と共に模型を発表する授業の模型製作時間とする。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
14	他授業の模型製作	設計課題で図面と共に模型を発表する授業の模型製作時間とする。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
15	他授業の模型製作	設計課題で図面と共に模型を発表する授業の模型製作時間とする。 【持参物】筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料
教科書・教材		
特になし。		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(丁寧さ・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)		
その他		
なし		

科目名	授業名	担当教員
キャリアデザイン	キャリアデザイン	村上 真生、岸本 雅樹、柴田 美佳
開講年度	開講学期	単位数
2025年度	後期	1単位
科目のねらい		
業界研究Ⅰ・Ⅱで習得した企業情報、自己分析をさらに深め、自分の強みを把握し、表現できるように、個人・集団面接試験、オンライン面接、クラウド・HP・SNSを活用した就職活動などのノウハウ習得と対策を行う。また、この講座を通して、社会人として必要なコミュニケーション能力、対人関係スキル、プレゼンテーション能力などを身につける。 春休みから主体的に採用選考へ進める事を目的とする。		
授 業 の 概 要		
デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。 ・デザイン業界の就職状況や、企業が求める人材像を把握し、実際の就職活動を前に準備を支援する。 ・自己分析を深め、各種応募書類について、学び対策をする。 ・社会に出るまでに必要なビジネスマナーを身につけることができる。		
授業終了時の到達目標		
【専門知識スキル】： ・就職環境を知り、就職活動をスタートする。 ・応募書類の作成手順を学び、就職活動に必要な書類を作成し準備できる。 ・インターンシップ、就職活動の場で、適切に自身や作品をPRできる。 【社会人基礎力】：数百字程度の文章をまとめる力を養う。社会人として、最低限必要な好感のもてる聴講マナーを身につける。		
回	テ ー マ	内 容
1	本格的な就職活動に向けての準備、業界内の企業研究	夏季インターンシップを踏まえた就職先の方向性を検討する。希望業界内でどんな企業があるか、職種があるかを調べ、就活の軸を考える
2	本格的な就職活動に向けての準備、業界内の企業研究	夏季インターンシップを踏まえた就職先の方向性を検討する。希望業界内でどんな企業があるか、職種があるかを調べ、就活の軸を考える
3	【VS・IS】企業研究訓練（キャリアセンター）	キャリアセンター内の情報検索端末の操作方法を学ぶ。 興味のある企業について求人状況を確認する。先輩卒業生の記入した受験レポートを確認する。
4	自己アピール	前期の自己分析を活用し 自己の強み弱み、自己PR、ガクチカをそれぞれ250文字で表現する
5	自己アピール	前期の自己分析を活用し 自己の強み弱み、自己PR、ガクチカを修正する
6	自己アピール	作文を通して、文章力、表現力、伝える力などを身につける
7	就職活動エントリー企業調査	来年度エントリーする企業を想定して、志望動機を表現する
8	志望動機	来年度エントリーする企業を選択して、志望動機を修正して、書けるようになる

回	テ ー マ	内 容
9	面接対策	実際に教室にて個人面接のロールプレイングをする。自分の強みと弱みを把握し、他者へ表現できる
10	面接対策	実際に教室にて個人面接のロールプレイングをする。自分の強みと弱みを把握し、他者へ表現できる
11	エントリー企業検索	インターンシップや採用エントリー開始時期など調べ、エントリーする
12	【合同】SPI模擬試験＋適性検査（キャリアセンター）	SPI及び適正検査を通して自己を知る
13	SPI模擬試験及び適正検査の結果確認 面接対策	SPI模擬試験結果及び適正検査の結果の見方について理解する SPI模擬試験結果を通じて自分の得意不得意を知る 実際に教室にて個人面接のロールプレイングをする。自分の強みと弱みを把握し、他者へ表現できる
14	【合同】スタログ利用説明（キャリアセンター） エントリー企業検索	求人票閲覧システムの利用方法を聞く インターンシップや採用エントリー開始時期など調べ、エントリーする
15	【冒頭キャリアパート】30分 企業訪問・会社説明会への参加マナー エントリー企業検索	各クラス個別対応 インターンシップや採用エントリー開始時期など調べ、エントリーする
教科書・教材		
予習・復習		
評価項目（評価の方法）		
【受講ルール等】：1、学生の状況に応じて参考資料をgoogle driveにて配布。2、課題提出は、毎回授業終了後に回収。3、提出課題は、内容の確認後、学生に返却する。【評価の観点】：1、必要出席率（80%）を満たしていること。2、授業参加態度が良好であること。3、課題の提出結果が基準点に達しており、認（認定）であること 【その他】：ZOOMのブレイクアウトルーム、画面共有を使用し複数のグループワークも適宜取り入れ実施。 【評価項目（評価の方法）】：平常点（授業受講姿勢など）、課題評価、出席率（ただし、必要出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は、単位不認定とする。）		
その他		
【授業運営方法】：講義 【持参物】：筆記用具、PC、参考資料		